

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。

### 【対象となる方】

2012年8月1日～2021年9月30日の間に虎の門病院血液内科において、マンツル細胞リンパ腫に対して同種造血幹細胞移植治療を受けられた方

### 【研究課題名】

再発難治性マンツル細胞リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植の治療成績に関する検討

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

再発難治性マンツル細胞リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植の効果および安全性を後方視的に解析します。

#### 《研究に至る背景》

マンツル細胞リンパ腫は予後不良リンパ腫の1つであり、初回治療の際に自家末梢血造血幹細胞移植を併用して大量化学療法を行うことが推奨されています。しかし、自家移植を行なった後に再発してしまった場合や、何らかの理由で自家移植を行うことが難しい症例では、同種造血幹細胞移植治療が必要になる場合があります。本研究は同種造血幹細胞移植の治療成績や安全性について評価します。

### 【研究期間】

2023年11月30日 ～ 2026年3月31日

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院において研究成果発表後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

**【利用する診療情報】**

年齢、性別、診断名、病期、治療薬情報、臨床検査値（血算、生化学検査、凝固検査、疾患特異的遺伝子検査）、画像検査（単純 XP、CT、MRI）、移植片対宿主病（Graft-versus-host disease、GVHD）予防方法、PIR の有無・重症度、GVHD の有無・重症度、全生存期間、治療奏効率、再発例については再発時期。

**【研究代表者】**

該当なし

**【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】**

研究責任者：血液内科・ 山本豪

研究機関の長：院長 門脇 孝

**【利用する者の範囲】**

該当なし

**【研究の方法等に関する資料の閲覧について】**

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

**【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】**

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年2月29日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

**【相談窓口】**

虎の門病院 血液内科 梶 大介

電話 03-3588-1111(代表)